

わいわい道中記

<目次>

- はじめに
- 第 93 回：いすみ鉄道・小湊鉄道（乗り鉄）
- 第 94 回：山陰本線（二条～京都）
- 第 95 回：都営大江戸線（両国～築地市場）
- 第 96 回：都営大江戸線（築地市場～国立競技場）
- あとがき



東映太秦映画村

2024年(令和6年)12月

歩く鉄道作家 樫原 勉

〇はじめに

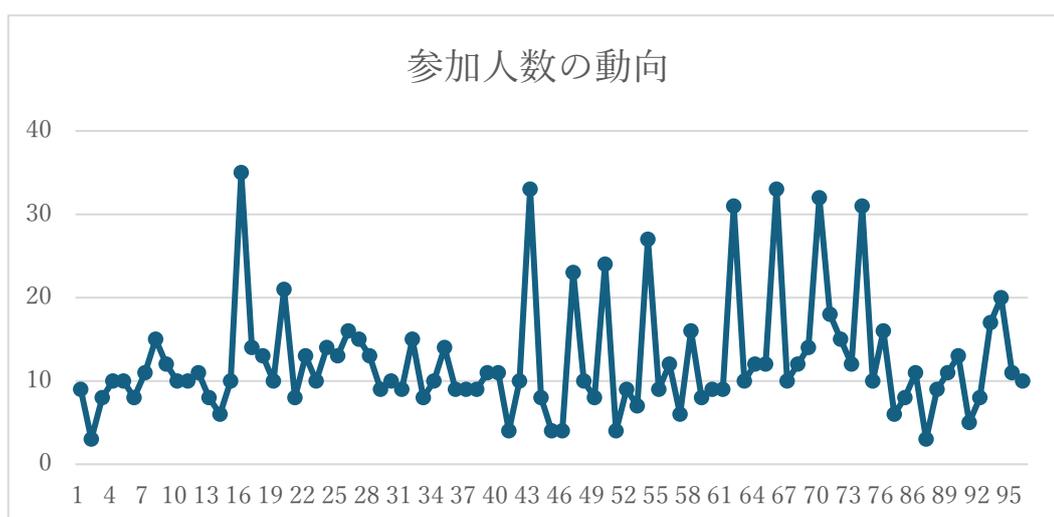
“わいわい道中記”は、2007年12月に立ち上げ、わいわい会（高松一高同窓歩き会）の活動内容を、私の独断と偏見の視線から、暦年単位でまとめた手記記録です。月日の流れは早いもので、2024年版でシリーズ第18号（第93回～第96回）となります。

現在、コロナ禍の傷跡と向き合いながら、更なる目標である100回を目指し、邁進中です。引き続き、一層のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

“わいわい道中記”の作成の主な趣旨は、言うまでもなく当会参加者に対するモチベーションの向上、そして母校（高松一高）や関西桜紫会の新規会員へのニード喚起、さらには会員以外の第三者への母校に関する発信です。

わいわい会は、ご承知の通り、関東在住の母校のメンバー（第35回目からは故郷や関西等からも参加）を中心として、遠足気分で“わいわい”と語りながら一日歩いて楽しむ親睦会です。当然ながら、わいわい会はボランティア活動と自己責任による活動を基本原則としています。それ故、各位の体力などに応じどこからの参加も可能だし、途中でリタイアも可能。そして反省会だけの参加も可能です。2000年11月を皮切りに、都合96回開催（うち7回は中止、通算参加人員1,104名、通算営業キロ786.9km）しました。

<参加人員の動向>



わいわい会の産物は、“わいわい道中記”だけではありません。参加メンバーが口ずさむことができる、2012年7月に誕生した“わいわい会賛歌”があるからです。このメロディーは、主幹事である私が拙い誌を描き、末澤美紀子さん（編曲・演奏）と故長町順史さん（作曲：2017年ご逝去）のご協力を得て、誕生したものです。何回聴いても素晴らしいメロディー（CDあり）であると自負しています。加えて、高松一高関東桜紫会の同好会コーナーに、わいわい道中記シリーズとして暦年単位で掲載していたのが、2018年、古谷光明氏のご逝去により実現が叶わくなり誠に残念です。新しいサイトにより一日でも早い再開を期待したいものです。

なお、本年のわいわい会にご登場頂いた役者の方は次の29名です。参加人数はコロナ禍前のような人数には及びませんでした。岡見晃浩さんや折口由紀子さん、そして古竹孝一さんの初参加があり嬉しい限りです。

<関東桜紫会>

植村寿子、大崎武久、岡見晃浩、岡本和代、折口由紀子、
檜原 勉、木下喜久代、熊野悦子、齋藤 理、佐藤明弘、
末澤美紀子、谷本静男、寺西修司、寺部雅子、中橋和子、
伴 真弓、藤本泰彦、古井純士、古竹孝一、平尾俊浩、
水野 充、溝縁義文、山本妙子

<関西桜紫会>

植松良治、植松悦子、木太克之、十河信也、田月宏、山下和秋
※敬称略、五十音順

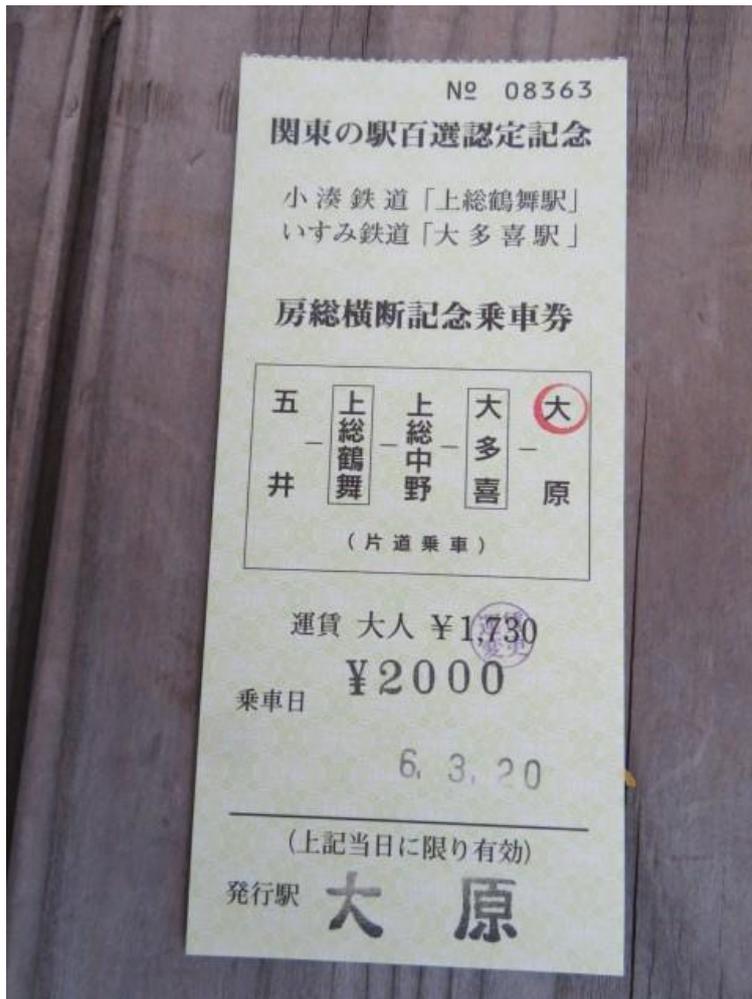
○第 93 回わいわい会

2024年3月20日（水）晴れ、第93回わいわい会（高松一高同窓の歩き会）は総勢17名の参加を得て、本年1月6日（土）の下見が功を奏し、”いすみ鉄道・小湊鉄道乗り鉄の旅”は無事閉幕となる。天気予報によると、午後から雨マークであったが、天や神のご加護を得て、晴れマークで概ね終わることができ、主幹事として嬉しいホッとする一日となった。本日は、参加者の住居地を配慮し、京葉線東京駅から12名、舞浜駅から1名、蘇我駅から2名、上総一宮駅から1名、大新駅から1名と五月雨式での参加方法とした。

本日の行程は、旅プランに基づき次の通り運営。

- ① 大原駅で11時6分、16名の集合写真を駅係員に撮って頂く。





②11時34分発の列車（1両編成、単線非電化）で終点の上総中野駅まで移動する。1月の下見と同様、国吉駅でいすみ鉄道車両の帽子を被った職員がたこ弁当やポップコーンを発売するために登場する。営業協力のためポップコーンを購入させて頂く。12時5分、大多喜駅で停車時間を利用し、いすみ鉄道社長（古竹孝一氏、高松一高卒）を交えて記念写真を撮って頂く。この駅でも”い鉄最中”を購入させて頂く。





③いすみ鉄道と小湊鉄道が合流する上総中野駅で記念写真を撮影。



④小湊鉄道（2両編成、単線非電化）に乗り換え、養老溪谷駅まで移動する。

⑤13時11分、養老溪谷駅で記念写真を撮って頂く。



⑥養老溪谷駅から観音橋まで2.1kmの道のり、辺りの風景を楽しみながら、わいわいと語りながら歩く。





⑦13時41分、観音橋前で記念写真を撮影する。



⑧14時50分～15時、割烹”大新”でランチタイム。主幹事のため、乾杯の音頭を取らせて頂く。また、古竹氏から本日のお礼といすみ鉄道の紙芝居によるPRがある。少し寛いだ後で、「100回目のわいわい会は来る2025年12月6日(土)元町中華街予定で、四半世紀継続して来た”わいわい会”はお陰様で満了」と喋らせて頂く。楽しい1時間を過ごさせて頂いた後は、16時32分発の列車まで自由時間とする。



⑨15時1分、大新前で記念写真。撮影後、古竹氏は仕事に戻られる。



⑩8名で出世観音を参拝する。15時18分、自動シャッターで記念写真撮影。



⑪朝生原小学校、学校下踏切を經由して、養老溪谷駅へ。駅に着くや否や16名の参加者の姿あり安堵する。



⑫16時32分の列車で五井駅に向かう。五井駅手前の上総村上駅で見事な2本の虹と遭遇する。



⑬五井駅からは流れ解散となる。

⑭当初は東京駅で反省会の予定であったが、錦糸町駅で車両についたビニールを撤去する作業で暫く停車する。止むを得ず、各駅停車の総武線に乗り換え秋葉原駅まで移動する。この駅で9名のメンバーと19時半過ぎから約2時間、昭和通り界隈にある”寿し土風炉”で反省会。楽しいひと時を過ごさせて頂く。自宅に到着した時は11時45分となっていた。



○第94回わいわい会

<1日目>8月5日(月) 晴れ/夕立

2024年8月5日(月) 晴れ/夕立、本日から始まる京都・松山の旅の初日は、第94回わいわい会を次のようなスケジュールで開催。当初は21名の参加であったが、一人急遽体調を崩され20名の参加での開催となる。



※京都駅から山陰本線で二条駅へ

○鉄道つたい歩き(二条～京都)

①11時30分、京都駅(亀岡行の電車の中)で末澤さんと溝縁さんにお会いする。そして、二条駅で順次古井さん、田月さん、水野さん、植村さん、木太さん、寺部さん、藤本さん、植松夫妻とお会いする。結団式後、二条駅前で集合写真を撮影。そして5分位経過し木下さんと山本さんが登場する。その他の6名(大崎さん、谷本さん、中橋さん、伴さん、十河さん、山下さん)は京都駅またはホテルからの参加となる。



※二条駅

②13時10分頃、11名で二条駅に向かってスタートする。13時13分、立命館朱雀キャンパス前を通過。13時28分、嵐電高架下を潜る。13時38分、千仏延命地蔵前で5分位小休憩する。丹波口駅には13時50分到着。ここで15分位休憩する。





※丹波口駅への路



※丹波口駅

③丹波口駅を出た先で14時20分頃から夕立に逢い、20分位雨宿りする。

④夕立がおさまったのをみて、梅小路京都西駅に向かう。この駅には14時43分到着。



※梅小路公園、梅小路京都西駅

⑤夕立で涼しくなった道筋を歩き、京都駅には15時12分到着。京都駅からの参加のメンバーと合流し、15時29分、記念写真を観光客の方に撮って頂く。





※京都駅への路、京都駅

⑥東本願寺前（15時39分）を經由し、ホテルには16時頃到着。ここでホテルからの参加メンバーと合流し総勢20名の参加となる。



※東横インへの路

○宴会と二次会

⑦ホテルを各自チェックインし、汗を流した後、ホテルロビーに17時半集合してもらい、本日の宴会会場の栞屋に向う。懇親会スタート前にわいわい会主幹事樫原から「明日の予定の事務連絡」と「わいわい道中記100回記念号執筆PRと各自これまでのわいわい参加で思い出に残る場面の投稿のお願い」がある。大崎先輩の乾杯の音頭で18時から21時頃まで大宴会となる。暫く歓談した後、19時から近況報告を含め順次各自スピーチがある。楽しい懇親会があつと言う間に過ぎ去る。「4半世紀にわたるわいわい会は凄い」と同時に「100回でわいわい会が満了になるのは寂しい」のご意見が大半でこれまで主幹事を25年近くやらせて頂いた労力が一気に報われ感謝の気持ちで一杯となる。



※大崎先輩の乾杯音頭



※宴会の風景

⑧ホテルロビーで希望者のみで 21 時過ぎから 22 時半頃まで 2 次会を開催。そしてお開きとなる、楽しい一日であった。



※2次会

<2日目>8月6日(火) 晴れ

2024年8月6日(火) 晴れ、京都・松山の旅の2日目は、昨日と同様京都に滞在し、第94回わいわい会での観光・反省会の巻。ホテルで朝食をとり、ホテルチェックアウト後、8時ロビーに集合し、記念写真撮影後、阪急四条烏丸駅まで徒歩で移動。そこから嵐電に乗り換え、太秦広隆寺駅まで移動する。当初はホテル前から太秦広隆寺駅までの移動を考えていたが、バス便が少ないことや20名もの団体が乗れない可能性もあり、急遽、電車での移動に切り替えた。ここでも、先日の下見が功を奏したような気がした。本日の行程は次の通り。



※阪急で四条烏丸駅から四条大宮駅まで移動



※嵐電大宮駅から太秦広隆寺駅まで移動

①広隆寺参拝（9時10分～9時30分）



※広隆寺参拝

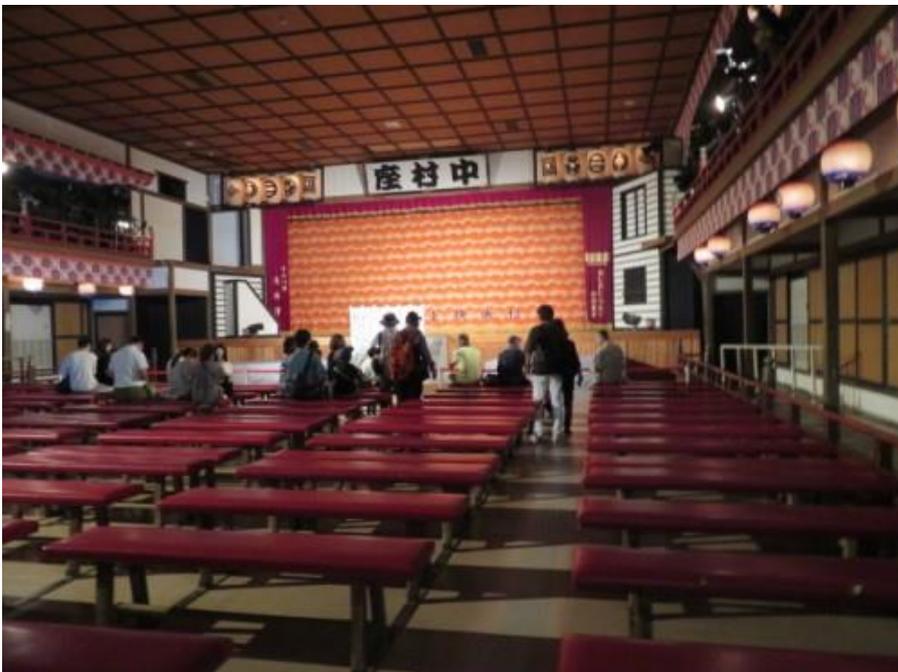
②東映太秦映画村観光（9時40分～11時20分）



※東映太秦映画村への移動



※さいとう啓さんを囲んで、中村座





※中村座でのがまの油薬、ちゃんばら劇場



※かき氷は最高に美味しい

③電車と徒歩で栞屋まで移動（11時30分～12時20分）

④栞屋で反省会（12時30分～14時）

昨日に引き続き、各自に2日間の感想をスピーチ頂く。ここでも、これまで”わいわい会主幹事”をやらせて頂いたことに感謝と感動で一杯となる。私の方から次の3点をしゃべらせて頂く。

（1）次回第95回わいわい会は、2024年9月21日（土）、都営大江戸線の両国駅スタートで築地市場駅（営業キロ6.5km）を目指す。（詳細は後日発信）

(2) 第98回わいわい会は、2025年7月21日(月)～7月22日(火)で、初日熱海で宿泊・宴会し、翌日初島を観光後、この島で反省会、そして熱海で解散。

(3) 第100回わいわい会は、2025年12月6日(土)、横浜中華街でわいわい会100回目を開催。そしてこの日でわいわい会は満了となる。それ以降は水野さんをお願いする。





⑤ホテルまで移動し解団式（14時20分）

下記の写真集は撮り鉄達人の植松良治様から恵送頂いた作品です。第94回わいわい会の流れが一目瞭然、感謝感謝で一杯となりました。

[総合写真1](#)

[総合写真2](#)

⑥解散（14時30分）

各自、京都までの旅を活用し、次の旅行へ。私は松山へ。



※新幹線としおかげで松山駅へ

○第95回わいわい会

2024年9月21日（土）、第95回わいわい会（高松一高同窓の歩き会）を開催。今回の歩きは、都営大江戸線の両国駅から築地市場駅までの営業キロ6.5km。JR両国駅に9名が揃うが、ランチ後門前仲町駅より、諸事情から途中で4名がアップされ、本日終点の築地市場駅までのメンバーは5名となった。しかし、反省会で新たに2名の参加者がおられ、本日の総勢は11名となった。主幹事として感謝の気持ちで一杯となる。これで通算営業キロは**1万6千34km（活動日数793日、日本の鉄道の57.9%。地球円周の40.0%）**となる。



※JR 両国駅（結団式）

本日の駅舎立ち寄りなどの時刻は次の通り。

JR 両国駅(10:09)～両国駅(10:20)～森下駅(10:37)～清澄白河駅(10:54)～清澄庭園(11:10より)～ランチ(11:30より)～門前仲町駅(12:16)～富岡八幡宮(12:30より)～月島駅(14:19)～勝どき駅(14:37)～築地市場駅(15:09)～反省会(15:30より)



※両国駅、森下駅への路



※森下駅、清澄白河駅への路



※清澄白河駅、清澄庭園

①本日は天気にも恵まれ、明日が秋分の日にも関わらず、蒸し暑い環境での歩きとなった。でも門前仲町まで落伍者もなく9名で歩くことができ、主幹事としてほっとする。大江戸線は3回目であるが、今回の歩きのコースが最もいいスポットであると改めて感じた。また、これまでの2回の大江戸線の歩きは反時計周りであったが、本日は時計周りのため風景は全く異なり、新鮮味があった。

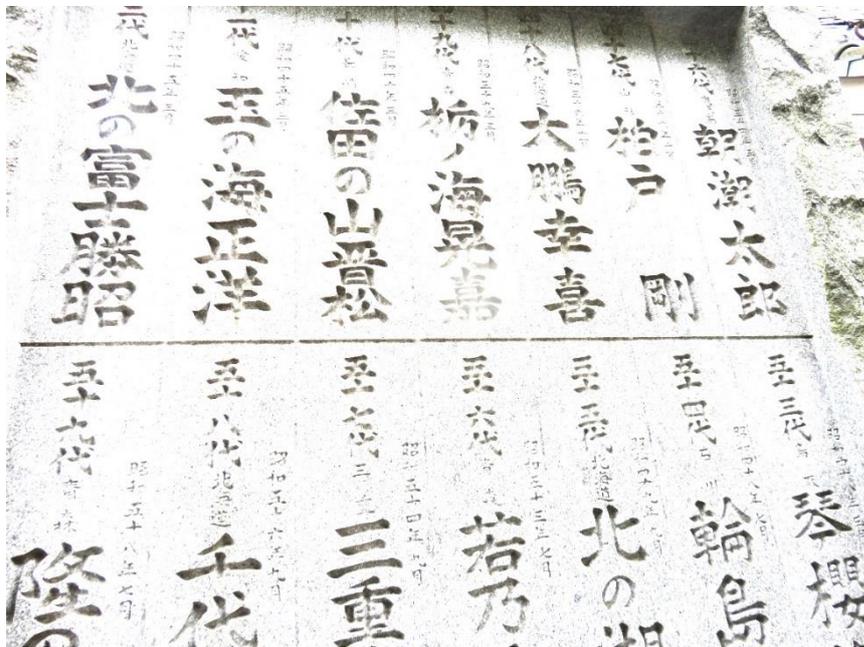


※蕎麦匠でランチ、門前仲町駅

②清澄庭園や400年の歴史をもつ富岡八幡宮にも立ち寄ることができ、ラッキーであった。富岡八幡宮は20年位前、高松一高のハイキング会で立ち寄った神社で懐かしくなる。横綱力士碑は”2024年9月18日1万6千キロ達成”を機に、新たに歩き鉄2万キロの目標を樹立したのをそうそうたる横綱力士の方々からエールを頂いたような錯覚もした。私の歩き鉄踏破実績から振り返り、相撲道の世界で置き換えると、1万キロ踏破が十両昇進、1万2千キロが幕内昇進、1万5千キロが関脇昇進、1万6千キロが大関昇進、そして2万キロが横綱昇進のように思えた。従って、これから4千キロの上積は相当な体力・財力などが必要となり未完成の確率は非常に高いが、天や神のご加護を得て何とか5年先を目指し達成したいものである。加えて、偶然にも日本地図を策定した伊能忠敬公の像にも立ち寄ることができ、感無量となる。



深川不動堂、横綱力士碑



※富岡八幡宮



※伊能忠敬公像前で、明治丸

③会場の都合などで、清澄界隈の蕎麦屋で9名全員が一堂に会いしてランチをとれなかったが主幹事として誠に残念であった。しかし、築地市場駅界隈の築地すし好や星乃珈琲で反省会ができ、締めとして最高であった。反省会の席上で次回第96回わいわいは**11月30日(土)**で決まる。集合場所：大江戸線築地市場駅地上入口前、集合時間：10時、歩く区間：築地市場～国立競技場（営業キロ7.5km）で対応予定。



※月島駅、勝どき駅への路



※勝どき駅、築地市場駅

④本日も大過なく歩くことができ、本日ご参加頂いた各位にこの場をお借りして熱く暑く御礼申し上げます。次回の第96回わいわい会も宜しくお願い致します。



※築地すし好にて



○第96回わいわい会

2024年11月30日(土)快晴の小春日和、第96回わいわい会(高松一高同窓の歩き会)を開催。総勢10名(うち1名は飲み会から)の参加がある。本日の行程は都営大江戸線の築地市場駅から国立競技場駅までの営業キロ7.5kmをつたい歩き。この区間は2023年のゴールデンウィークに単独で歩き終えている。紅葉が見頃な大東京の街並みを鑑賞しながら、一日を満喫する。本日の歩きで、通算営業キロは**1万6千120km**(活動日数798日、日本の鉄道の58.2%、地球円周の40.3%)となる。



※築地市場駅

本日の各駅舎到着時刻は次の通り。

築地市場(10:27)～汐留(10:57)～大門(11:20)～赤羽橋(13:17)～麻布十番(13:35)～六本木(14:17)～青山一丁目(14:52)～国立競技場駅(15:33)

①築地市場駅からの歩きは9名となった。当初は10時10分スタートを予定していたが、交通事情などの関係から10時27分のスタートとなる。浜離宮庭園脇を歩き、汐留駅をわいわいと語りながら目指す。途中、黄色く色づいた銀杏並木を通過する。くねくねした幹線道路を経由し、汐留駅には10時57分到着。この駅にはゆりかもめの駅も合流していた。そして、方向転換し、懐かしい大門駅には11時20分到着。



※汐留駅への路



※浜離宮庭園前、汐留駅



※汐留駅界限、大門駅

②JR 浜松駅や大門駅界限は、2008年1月から10年位、高松一高関東桜紫会幹事会で通った場所で懐かしくなる。また、幹事会終了都度近くの居酒屋に立ち寄らせて頂いた。その会議室を使用させて頂いた笠井設計 KCD ホール前を通過し、赤羽駅を目指す。しかし、誤って三田本面に進んでおり、大回りとなる。本日は地図を持参せずに臨んだため、要所要所でナビを確認しながらの歩きとなる。途中、12時過ぎにジョナサンがあったので13時過ぎまでランチタイムとする。ラッキーにも一堂に会して食事ができる。





※ジョナサンでの食事会

③女性3名は食事のあと、コーヒを飲むとのことで、午後からは男性6名での歩きとなる。というのは、15時半を目途に本日終着駅の国立競技場駅に到着する必要（寺西先輩との再会）があったため、先を急ぐことにした。旗を山本さんに預けたため、黄色い旗なしの歩きとなる。高速道路下傍にある赤羽橋駅には13時17分到着。この駅から東京タワーが一望できた。道なりを淡々と歩いた先に麻布十番駅（13時35分）があった。かつて讃岐会館があった界限にはクレーン車があった。数年先の総合的な大型ビルを目指し建設中であった。

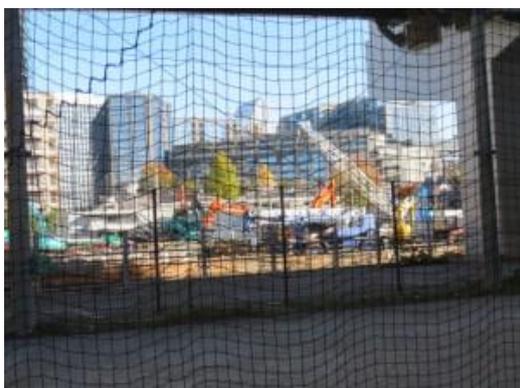


※東京タワー、赤羽橋駅

④13時52分、麻布十番駅界限には十番稲荷や港区七福神詣での門（宝船）がある道筋を通過。14時5分、六本木中学校前を通過。14時8分、朝日神社前を通過。坂道を上り、六本木駅には14時17分到着。往来が多く、この駅舎での集合写真は撮影できず。駅前にはボランティアの人が数名いた。恐らく、外国人などの観光案内だろうと類推する。



※麻布十番駅



※贗岐会館が生まれ変わる



※六本木駅への路



※六本木駅

⑤ナビを時々見ながら、追従してくれる5人の仲間を意識しながら、幹線道路を淡々と歩く。14時33分、千代田線の乃木坂駅を通過。14時50分、青山中学校前を通過。青山一丁目駅には14時50分到着。そして紅葉が見頃な並木道を歩き、JR信濃町駅界隈を経由して本日の終着駅の国立競技場駅を目指す。信濃駅界隈で古井さんがアップする。寺西先輩とジョナサンで別れた代表の山本さんから現在場所の確認がある。それらの対応をしながらの歩きとなる。国立競技場駅には15時33分到着。この駅で3人の女性陣と合流して8名となる。この駅前で写真を撮影後、藤本さんがアップする。



※青山一丁目駅への路



※青山一丁目駅

⑥寺西先輩とは、何回も携帯でのやりとりの結果、やっと JR 千駄ヶ谷駅（15 時 45 分）で合流できる。わいわい道中記を紐解くと随所に寺西先輩が登場する。本日も 95 歳を過ぎても元気なお姿を拝見し、感服また感服で一杯となる。この界限は反省会の店が少ないため、メンバーの合意を得て新宿駅まで移動する。ここで 8 名の体制となる。新宿駅の改築工事などにより通路が一変しており、はぐれるメンバーが発生し、反省会は私の行きつけの店（天狗）で 16 時 50 分位から開始となる。時間の関係から 1 次会の喫茶店はパスする。私は急遽家事都合ができて途中解散（18 時）となったが、楽しい一日を過ごすことができる。寺西先輩の提案でわいわい会新年会は 2025 年

1月21日(火) 11時半より、本日の反省会会場(新宿西口パレットビル7階:天狗:03-5325-0750)開催と決まる。また、第97回わいわい会は3月4日(火)で決定する。今回のわいわい会を通じ、旅記録の重要性をひしひしと肌身を感じる。感謝の気持ちで一杯となる。この場をお借りして、本日参加頂いたメンバーに厚く熱く御礼申し上げます。



※国立競技場駅への路、青山中学校



※国立競技場、国立競技場駅



※JR 千駄ヶ谷駅



※天狗で反省会（忘年会）



※2025年1月21日（火）、わいわい会新年会の会場

○あとがき

最後までお読み頂きありがとうございました。これまで7回中止となっているわいわい会を、ウイズコロナを鑑み、**100回**に向けて2022年7月21日（木）新たなスタートを切りました。今後ともわいわい会を盛り上げるため、愉快的な情報誌を目指し「わいわい道中記」の執筆活動でも鋭意努力していく所存です。そのためには皆様のご協力に加え、多くの登場人物が不可欠です。皆様の積極的な参加をお待ちしております。今後とも“わいわい会”に一層のご鞭撻・ご指導をお願いします。

以上

2024年12月吉日
高松一高関東桜紫会
わいわい会主幹事 榎原 勉

同好会活動のひとつであります「わいわい会」は、高松一高関東同窓会や幹事会などと同様重要なイベントと考えます。また、わいわい会は関東桜紫会会員などの皆様に支えられています。